

名古屋大学模擬授業を開催しました。

- ・実施日 令和5年12月9日(土)
- ・実施場所 名古屋大学 全学教育棟4階『SIS4』

・テーマ

①『大学進学のため、高校時代に「どのように学ぶ」べきか』

宇宙地球環境研究所 年代測定研究部 小田寛貴先生

②『私たちが動かす感情のメカニズム』

大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻 大平英樹先生(本校 S55.3 卒)

希望者の生徒39名で名古屋大学に行き、普段味わうことのできない専門的な2つの授業を体験しました。午前は宇宙地球環境研究所 年代測定研究部の小田寛貴先生に『大学進学のため、高校時代に「どのように学ぶ」べきか』というテーマで講義をしていただきました。午後は大学院情報学研究科 心理・認知科学専攻の大平英樹先生(本校 S55.3 卒)に『私たちが動かす感情のしくみ』というテーマで、生徒たちは皆、真剣に講義を受け、それぞれが講義の内容や進路、勉強方法などについて様々に考えていました。授業後には個人的に質問に行く姿も見られ、有意義な体験会になりました。

【生徒の感想】

- ・今回の講義の内容で印象に残ったことが2つある。ひとつは、個性的、独創的な研究ができるようにするためには、今までどんな研究があったのかを知らないといけないこと。もうひとつは、高校や大学では文系・理系と学ぶことがはっきり分かれているが、研究をする時には文系・理系の境界はなく、様々な知識を組み合わせるということだ。だから、高校時代では限定された教科だけでなく、様々な教科を広く深く学べるようにしたい。そして、講義の内容にあったように、学ぶ時には、「自分はこれに興味がある」と思いながら取り組めるようにしたい。
- ・ふたつの講義を通して、やはり継続的な勉強が最も自分のためになるのだと再認識した。私はまだ毎日勉強する習慣がついておらず、テスト前に詰め込んでいるだけなのでそろそろ受験に向けての勉強を始めなければならないと痛感した。
また、どちらの先生も共通して、「いろいろなことに興味、関心をもて」とおっしゃっていた。私は入試で使う科目だけやればいいのに、と不満に思っていたので反省した。それぞれの教科の勉強はすべての深い理解につながっている。これからは使わない科目も真面目に受けようと思った。
- ・1つ目の講義では、深く広く学ぶことが大切だということが印象的でした。そのためにも、高校の基礎の学力は必ず必要になるので、繰り返し勉強し、将来困らないようにしたいと思いました。また、多角的な視野をもつことも大切にしたいと思いました。
- ・大学で心理学を学びたいと思っています。心理学は文系だけれども、理系要素もたくさんありより様々な知識が必要です。文系だからといって文系科目ばかりではなく、理系科目にも力を入れて、バランスよく勉強していく必要があるとより感じました。自分の進路実現に向けて、一歩ずつ前進していけたらなと思います。